

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

平成 30 年 9 月 27 日
村山 章

警察官の仕事は確かに大変だと思います。先日も、仙台市内の交番で、警察官が刺殺される事件が起きましたが、一步間違えば命を落とします。そんな仕事だからこそ昔は、悪は絶対許さないでやっつける、人々を守る、住みよい社会を築くなどの目標のもとで、自分の職業に誇りを持ち、頑張っていた警察官が殆どだったのではないのでしょうか。最近は公務員としての安定した収入を求めて、警察官になっている方が多いように感じますが、私の偏見でしょうか。日本も経済的に随分豊かになりました。命がけの職業だけに昔との格差を感じてしまうのかもしれませんが、昔は、警察は怖いという認識が強かったと思います。今は警察署や警察官のイメージが昔より明るくなった気がします、その反面、かつての緊張感が少し落ちたように感じます。

日本は資本主義、民主主義の国です。公正かつ自由な競争により経済を発展させてきた国で、累進課税の成果ばかりではないと思いますが、貧富の差も他国に比べて少ないのではないのでしょうか。一般市民の生活を向上させる思いを基本とする経済民主主義の枠組みのなかで、物価を下げて日本国民の生活を豊かにしようと努力している方々がおられます。ニトリやユニクロなどのチェーン店に行くと、感動的に安い物が多数販売されています。日本全体の豊かさを高めるという大望のもとで、よしやってやろうじゃないかと奮い立つ人が多いのが日本民族なのだと思います。人様を大切に思い、人様のために努力をなさいと子供の頃に教わりました。もちろん自分自身や家族も大切にしなければいけません、人様や社会に役立つことも重要です。

グローバル化や IoT、AI などの技術革新により、社会は大きく変わろうとしています、極東のこんな小さな島国が、世界の中で存在感を示しているのです。その発展を支える勤勉さや人様を大切に作る心など、先祖から伝わる文化をなくさないようにしたいものです。